



たんぽぽだより

平成29年7月号 No.17

砂川市病児・病後児保育施設

Tel 0125-54-2278

真夏日が続き、午前中から気温が高くなっています。

湿度も高くなっているため、あせもやとびひを防ぐために、こまめに汗をふき皮膚を清潔に保ちましょう。

またこの時期は食中毒も発生しやすくなります。ご家庭でも食品の取り扱いには十分気を付けていきたいですね。



かゆみのある湿しんは「とびひ」かも



虫刺されや湿しんなどで傷ついた肌を汚れたつめでひっかくと、傷口に細菌が感染して「とびひ(伝染性膿痂疹)」になります。うみをもったような水ぼうがで、強いかゆみが出ます。かゆいからといってひっかくと大変！水ぼうが破れて中の液が付いた所に、とびひがどんどん広がってしまうのです。水ぼうがを見つけたら、つめでひっかかないようにガーゼで覆い、受診しましょう。

ぼくたちのつめも、忘れずに短く切ってね



食中毒を予防しよう

食中毒が発生しやすくなっています。子どもたちの健康を守るためにも、この時期はご家庭でも、いつもより衛生的に過ごすように心がけてください。

予防のポイント

- 1 新鮮な食材を使う。調理してから時間がたったものは食べない
- 2 魚や肉は十分に火を通す
- 3 賞味期限や冷蔵庫を過信しない
- 4 まな板や包丁などはまめに熱湯消毒や漂白剤で殺菌する
- 5 調理前や食事の前、トイレの後にはせっけんで手指を洗う
- 6 手指に傷がある場合はブドウ球菌に感染しやすいので注意する



★保育室のようす★



♪トミカで楽しく遊んで、折り紙やぬり絵も上手にできました♪

